

戸籍の窓

10月1日〜11月末届出分
〔ゴシック文字は地区在住〕

●すこやかに

向山 瑛太(えいた)くん(東、勝彦さん)
 名越 天音(あまね)くん(菱浦、将博さん)
 藤本 紬希(つむぎ)ちゃん(御波、淳さん)
 佐藤 滉(ひろ)くん(東、丈土さん)
 杉原 橙真(とうま)くん(菱浦、稔さん)
 橋本 大夢(ひろむ)くん(中里、亮介さん)

●えんむすび

花岡 健太さん(福井)
 阿川 智佳さん

●やすらかに

安部 直也さん 大津 美智子さん
 川本 紗保理さん(福井) 倉崎 ヨネさん
 松尾 佳祐さん 大江 まさみさん
 江川 美帆さん(北分) (宇受賀、61)

藤田 海斗さん 前川 マス子さん
 小濱 大明さん(菱浦) 竹中 ノブ子さん
 仲舟井 由賀さん (宇受賀、94)
 高松 佑輝さん(保々見) 松前 佐智子さん
 渡邊 麗美さん 山根 晴代さん
 吉川 達さん(菱浦) 山下 正一さん
 坂本 涼子さん 井筒 綾乃さん
 柏原 勇希さん(宇受賀) 濱見 久子さん
 篠原 千春さん (御波、100)
 (知々井、92)

御礼申し上げます

〔海士町社会福祉協議会〕

◆香典返し

倉崎 長徳様(御波)
 村川 勇様(中里)
 山下 久代様(崎)
 村尾 泰弘様(松江市)
 沼田 洋一様(中里)
 大江 充様(宇受賀)
 松前 一孝様(御波)

〔特別養護老人ホーム諏訪苑〕

◆香典返し

村尾 泰弘様(松江市)

◆一般寄附

松尾 利徳様(西)

◆広報郵送料(12/21まで)

村尾 泰弘様(松江市)
 沼田 洋一様(堺市)
 滝川 収三様(茨木市)
 滝川 亮三様(寝屋川市)
 大門 義孝様(隠岐の島町)
 脇谷 輝美様(安来市)

訂正

昨年11月号の御礼の欄に間違いがありましたのでお詫びして訂正いたします。

(×)浜西 久美子様(宇受賀)
 (○)浜西 久美子様(明石市)
 (○)山本 幸子様(大阪市)
 (○)山下 幸子様(大阪市)

キラリ★海士人

少女のようなときめきと好奇心
「楽しみは自分で取りに行くの」

大野 由喜代 さん
 (86歳、中里在住)

昨

年の産業文化祭で、詩の吟じ手として初舞台を踏んだ大野さん。詩吟に興味を抱いたのは女学生時代でしたが、学ぶ機会がないまま70余年。昨年夏に生徒募集のチラシを見つけて入門を即決しました。「嬉しくてそのまま稽古場に駆け付けてしまった。私、行動が早い」。うふふと笑う顔はとびきりの若々しさです。

両親は海士町出身、大野さんは鬱陵島生まれ。6歳の頃から仁川で暮らし、終戦の年に家族で海士町へ引き揚げました。西郷の高校、そして松江の看護学校で学び、看護師として海士に戻ってからは東の診療所で2年間勤務。ところが24歳の時、また海士を出ることを決意します。「外で働きたくて、先生にお願いして神戸の大学付属病院へ。縁談話から逃げたかったしね！」

その時から、所謂『職業婦人』としての長い道のりが始まりました。34歳で赴任した神戸労災病院では婦長、副部長も務め、後に看護部長として大牟田、山陰労災



病院でも働き、58歳で叙勲を受けました。

看護の道を定年まで全うし、戻った海士で偶然出会った新たな楽しみが、ハーブです。これだ！と思ったら一直線。通信教育で育て方や効用を独学し、一人で福祉施設でのハーブ栽培を始めました。10年経った今では仲間も増えて、ハーブといえは大野さんと言われるような存在に。「お年寄りにも出来るし、何より心が癒される。料理や、紅茶に入れたりお風呂に入れたり、生活が豊かになりますよ」

「詩吟もハーブも大好き。楽しみは自分で勇気をだして取りに行くしかないですね。Iターンの人と一緒に何かをする機会にもなって嬉しいです」

自分が楽しいと思うことを軸に、人をつなげ、輪をつくり続ける。まさに“草の根”の活動で、島の活力を生み出している一人です。(総務課 小坂)